

APTECニュースレター vol.13

平素は、APTECの事業にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今後もUNWTO及び観光関係各機関と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進してまいりますので、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

○UNWTOによるコロナ禍の観光動向調査・観光回復のシナリオについて

UNWTOは、世界観光指標(World Tourism Barometer)やダッシュボード(UNWTO TOURISM DATA DASHBOARD)等の公表を通じ、コロナ禍における観光動向の調査や、今後の見通しとして2022年の回復シナリオなどについて発信しています。

◆2019～2021年の観光動向比較

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 1, January 2022)

	2019年 (COVID-19前)	2020年	2021年
国際観光客到着数 (一泊以上の訪問客)	15億人	4億人	4億1,500万人
国際観光輸出収入 (国際観光収入及び旅客輸送)	1兆7,000億米ドル	6,380億米ドル	7,000～8,000億 米ドル
観光が直接的にGDPに貢献 している割合	3.5兆米ドル	1.6兆米ドル	1.9兆米ドル

2021年に国際観光到着数は、前年比で4%好転(4億人から4億1,500万人)しましたが、UNWTOの速報値によると、依然としてパンデミック前の2019年を72%下回ったままです。

2021年における観光の経済的貢献(観光が世界のGDPに占める直接的な貢献)は2020年の1.6兆米ドルを上回る1.9兆米ドルと推定されていますが、依然としてパンデミック前の3.5兆米ドルをはるかに下回っています。

国際観光による輸出収入は2021年に7,000億米ドルを超える可能性があり、一旅行当たりの支出が増加したことにより2020年より若干改善しましたが、2019年に記録された1.7兆米ドルの半分にも満たない数値になっています。

◆2021年の主要事項(世界観光指標1月号より)

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 1, January 2022)

- ・2021年上半期の後、北半球で夏季に国際観光は緩やかに回復し、第3四半期の実績が向上した。第4四半期に良い傾向が続いた。
- ・2021年においては、地域別では米州とヨーロッパが、準地域別ではカリブ海が最高の実績となった。
- ・最近の改善は、多くの国・地域でのワクチン接種の加速化及び渡航制限の緩和における旅行者の信頼度の向上による。
- ・繰延需要の増加や滞在期間の長期化、交通機関の宿泊施設の価格上昇により、2021年は一旅行当たりの平均観光収入が1,500米ドルを上回った。
- ・2021年11月には、世界の国・地域の国境閉鎖数が最低水準に下がった。アジア・太平洋は依然として、国境の閉鎖率が最も高い地域である。
- ・オミクロン株の出現と世界の一部の地域での感染拡大により、回復は依然として脆弱でばらつきがある。

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 1, January 2022)

◆2022年以降の見通し(世界観光指標1月号より)

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 1, January 2022)

<課題>

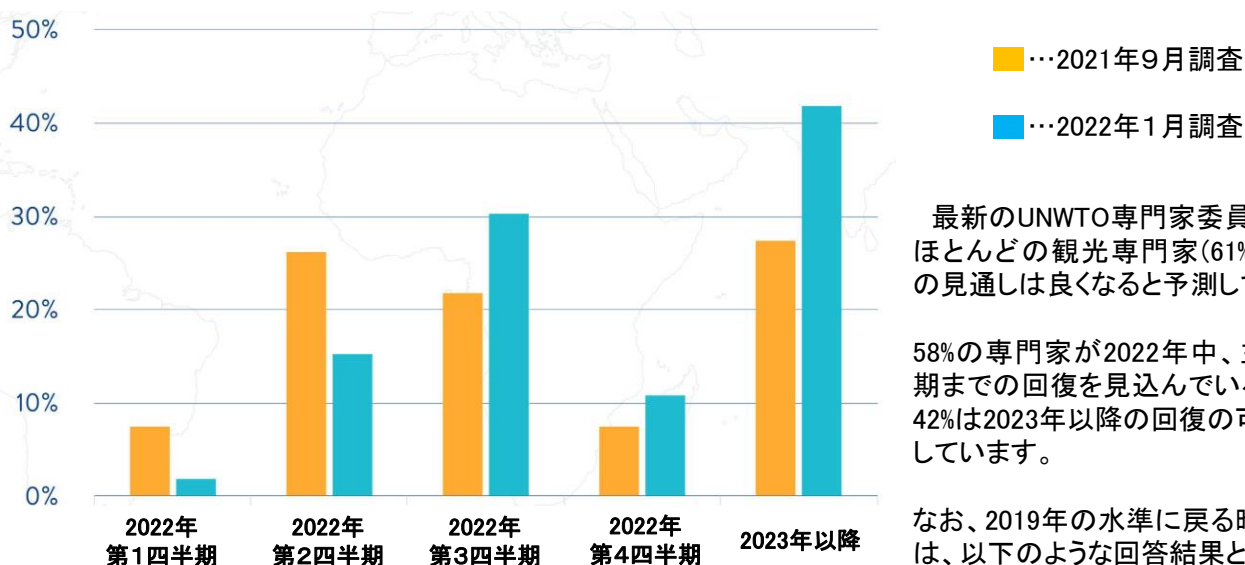
- ・最近の感染者数の増加及びオミクロン株により、一部の国々で特定の市場に対して渡航の禁止や制限が再び導入され、2022年の年初の回復を妨げ、信頼感に影響を及ぼしかねない。
- ・アジア・太平洋は依然として、国境の閉鎖率が最も高い地域である。
- ・ワクチン接種の普及には依然としてばらつきがある。
- ・原油価格の高騰、物価・金利上昇の可能性、多額の負債、国際的なサプライチェーンの継続的な混乱により、厳しい経済環境となっている。

<機会>

- ・主にヨーロッパと米州における多くの国と市場での継続的な回復
- ・高い繰延需要の増加
- ・ワクチン接種の普及
- ・2020年及び2021年からの教訓
- ・EUデジタルCOVID証明書等の渡航円滑化のデジタルツールの使用

【観光回復期に関する調査(UNWTO観光専門家委員会)】(2022年1月18日公表)

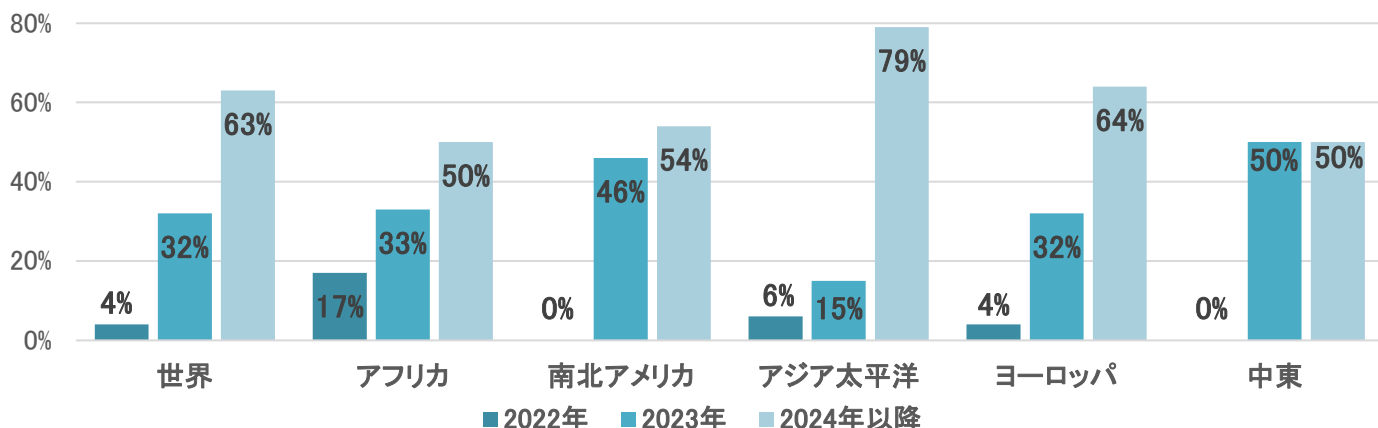
Q.あなたの国・地域の国際観光は、いつ頃回復に転じるとお考えですか？



(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 1, January 2022)

Q.あなたの国・地域の国際観光がパンデミック前の2019年の水準に戻るのはいつになると思いますか？

(出所：UNWTO World Tourism Barometer Volume 20, Issue 1, January 2022)



○第3回世界ガストロノミーツーリズム・スタートアップ・コンペティション

国連世界観光機関(UNWTO)は、スペインの世界的な料理大学校として有名なバスク・クリナリー・センター(BCC)と共同で、ガストロノミーツーリズムのイノベーションと起業家精神を促進する取組として、第3回ガストロノミーツーリズム・スタートアップ・コンペティションを開催しています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)からの回復に向けて、より包摂的、持続可能で、強靱(レジリエント)な観光セクターを構築するためのアイデアを募集しています。

なお、受賞者は、2022年に奈良県で開催されるUNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムで発表・表彰の機会が付与される予定です。

【目的】

新型コロナウイルス感染症からの回復に向けて、SDGs達成に向けたガストロノミーツーリズムに関する取組を加速

【募集要項】

対 象:

- 自然人、法人を問わず、法定年齢に達しており、行為能力を有するすべての起業家
- 国連が掲げる「持続可能な開発目標」(SDGs)に沿い、技術的な要素を導入したプロジェクト

応募要件:

- 革新的で/斬新であること
- ビジネスにおける拡大可能性があること
- ビジネスモデルが検証済み、あるいは試行済みであること
- 市場で浸透する内容であること
- 起業家やプロジェクトチームが実施していること

プロジェクトは、3つの部門に分類されます:

● 新技術部門

ガストロノミーツーリズムに関連する解決策や新たなサービスを提供するための高い技術的要素を持つ新規プロジェクトを開発・促進している個人又は法人

● 地域影響部門:

ガストロノミーツーリズム分野に関する、地域の変革や社会改善の要素が高いプロジェクトを開発・推進している個人又は法人

● 持続可能性と廃棄物部門:

観光客が生み出す影響に関連し、持続可能性や食品廃棄物管理の要素が高いプロジェクトを開発・推進する個人又は法人

特典:

- ✓ UNWTO及び連携組織からの助言
- ✓ 各新規事業に応じたサポート
- ✓ 投資の機会
- ✓ UNWTOイノベーションネットワークへの加入
- ✓ ツーリズム・オンライン・アカデミーへの奨学金の機会
- ✓ 第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムにおいて新規事業を発表する機会(2022年12月、日本の奈良県予定)
- ✓ LABe-デジタル・ガストロノミー・ラボ施設(注1)の6か月間の使用
- ✓ 初のロードショー形式のフドーテック・スタートアップ・コンペティション「クリナリーアクション！オン・ザ・ロード」(注2)にファイナリストとして参加
- ✓ ガストロノミー分野で初のデジタルコミュニティであるGOeデジタルコミュニティのアドバンスプラン(注3)の利用(6か月間)



【応募締切】

2022年6月1日(水)

過去の受賞者や応募先、詳細はUNWTO駐日事務所のWebサイトをご参照ください。



第1回コンペティション授賞式の様子

(注1) スペイン・バスク地方サン・セバスチャンにある、バスク・クリナリー・センター(BCC)が運営するレストラン付きのラボ施設。調理器具やプレゼン設備の整ったキッチンと会議室がある。

参考: About | LABe - Digital Gastronomy Lab (labe- dgl.com) <https://www.labe-dgl.com/en/labe/>

(注2) BCCが主催するスタートアップコンペであり、マドリッド、ビアリッツ、コペンハーゲン、テルアビブで各地域のパートナーと共に開催されている。最優秀者には賞金が与えられる。

参考: On the Road - Basque Culinary (culinaryaction.com) <https://culinaryaction.com/ontheroad/>

(注3) 「クリナリーアクション！オン・ザ・ロード」の優秀者に対して、コンペの優秀者は、GOeデジタルコミュニティというBCCが提供するガストロノミーに関する専門家が集結するネットワークに参加することができる。

参考: About | LABe - Digital Gastronomy Lab (labe- dgl.com) <https://www.labe-dgl.com/en/labe/>

○UNWTO本部スタッフインタビュー

2021年7月にUNWTO本部からUNWTO駐日事務所に出向し、現在持続可能な観光の推進に係る各種業務に従事しているUNWTO本部スタッフに、UNWTO本部で取り組んでいたプロジェクトや現在の業務、これまでに日本で経験したことなどについてインタビューを行いました。

➤ 自己紹介(自身の来歴、現在の職務内容等)

【UNWTO本部プログラムオフィサー オリアンヌ・デリアー】(国籍:フランス)

UNWTO駐日事務所勤務する前は、スペインのマドリッドにあるUNWTO本部アジア太平洋部で地域担当専門官を務めていました。UNWTO本部における4年間の勤務では、次のようなプロジェクトを担当しました。

- ・アジア太平洋地域の加盟国政府との連絡調整、支援依頼に対する対応
- ・アフリカ地域及びアジア太平洋地域における野生生物の保護と持続可能な観光に関する15件のプロジェクト



現在私は、UNWTO本部からUNWTO駐日事務所に派遣されています。
駐日事務所での私の仕事は、太平洋島嶼国におけるUNWTOプロジェクトの計画、調整、実施管理を通じ、日本やアジアの関係者にUNWTOが推進する持続可能な観光を普及させることです。

私はこれまでに、駐日事務所において以下のような活動を行いました。

- ◇「UNWTO Tourism Stories for the Pacific」プロジェクトに係る連携機関及びUNWTO本部との企画調整
- ◇ APTEC／UNWTO駐日事務所、UNWTO本部、太平洋観光機関(SPTO)が連携し作成した調査研究レポート「太平洋島嶼国における持続可能な観光振興と商品開発」のリリース
- ◇UNWTOの活動に関する国内外での講演やプレゼンテーションの実施
- ◇UNWTOの持続可能な観光に関するプロジェクトの提案やプレゼンテーション資料に関するアドバイスの提供

➤ 来日して感じたこと

日本で働く機会を得たことに、とてもわくわくし幸運に思います。
新型コロナウイルス感染症の流行により多くの困難があった中、私の来日を手配してくれた観光庁、外務省、UNWTO駐日事務所、APTEC、UNWTO本部のスタッフに深く感謝しています。
UNWTO駐日事務所は、私が奈良での移住がスムーズにいくようサポートしてくれました。
また、奈良県は私のコロナワクチン接種に係る手続を非常に手厚く支援してくれました。
パンデミックにもかかわらず、安全だと感じられる国に住むことができ、安堵しています。
初めての来日での任務のうち8か月を終えましたが、日本の人々、文化について、まだまだ発見し学ぶことがたくさんあると感じています。私は、日本をより深く理解するために、仕事上の目標として、また個人的な目標として、日本語の習得に取り組んでいます。最後に、私は繊細で健康的な日本の食文化に非常に感動しており、日本滞在中にできるだけ多くの日本食を楽しみたいと思っています。



➤ 業務を通して経験したこと

UNWTO駐日事務所での仕事は、日本の観光事情についてユニークな洞察を与えてくれ、日本のUNWTO賛助加盟員など、日本における多くの主要な観光関係者とつながりを持つことができました。特に、国や地域の観光関係者による持続可能な観光開発とその意識啓発の重要性について、日本のニーズをよりよく理解することができました。UNWTO駐日事務所が関与して作成した「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」や、「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」を活用し、持続可能な観光地づくりに向けたより良い前進が見られることを期待しています。

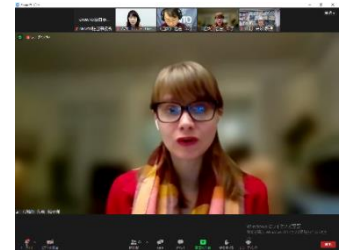


さらに、日本での勤務は、太平洋諸島の加盟国と密接に仕事をする機会を与えてくれました。現在、太平洋島嶼国に焦点を当てた2つのプロジェクトが決定していますが、これは新型コロナウイルス感染症の流行による社会・経済的な影響を大きく受けた加盟国との関係を強化する上で、重要な鍵となるものです。太平洋地域以外にも、私はUNWTO駐日事務所の代表として、スペイン・マドリードで開催された第24回UNWTO総会(2021年11月30日～12月3日)、カンボジア・シアヌークビルで開催されたASEAN観光フォーラム(2022年1月16日～1月22日)などの旅行・観光分野の主要イベントに参加しました。この2つのイベントにより、世界やアジア太平洋レベルでの観光復興に関連する重要な問題や実践可能な解決策について、理解を深めることができました。



➤ APTEC会員へのメッセージ

APTEC会員の皆様には、UNWTO駐日事務所への派遣を支えていただいていることに改めて深く感謝申し上げます。私の貢献がAPTECに役立つことを願うとともに、派遣期間の終了までUNWTO駐日事務所を精一杯支援できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



○講師派遣依頼について

UNWTO駐日事務所では、自治体や大学・高校学校等の教育機関、DMO、観光関連事業者へ、出前授業や講演に講師となる職員を派遣しています。

職員の派遣をご希望される場合は、以下の条件をご承諾の上、所定のお申込書に必要事項をご記入の上、UNWTO駐日事務所までお申込みください。

【申込書・詳細等についてはUNWTO駐日事務所webサイトをご参照下さい。(URL <https://unwto-ap.org/tutor/>)】

※職員のスケジュール等の都合により、お引き受けできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

対 象 : 高校生以上
人 数 : 30名程度～
講 師 : UNWTO駐日事務所 職員
言 語 : 日本語又は英語
費 用 : 交通費 実費

※宿泊を伴う場合は、宿泊費をご負担いただきます。
※講演内容につきましてはご相談に応じます。

【申込書提出及びお問い合わせ先】

メールアドレス: lec@unwto-ap.org
件名に「講演依頼」とご記入ください。
電話: 0742-30-3881(代表)

【講演可能テーマ】

持続可能な観光に向けたUNWTOの取組と地域振興策について

《基本題目》

- UNWTO(本部)及びUNWTO駐日事務所の概要・活動紹介
- 持続可能な開発目標(SDGs)に関するUNWTOの取組
- 国際観光動向
- 持続可能な観光地域経営
- 観光と地域振興
- 国際観光の動向と新型コロナウイルス感染症に対するUNWTOの取組

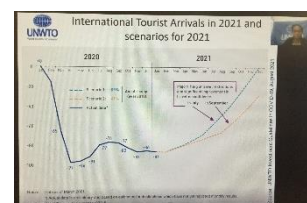
【過去の実績:2021年度(例)】

奈良県観光局MICE推進室の若手職員等に向けた講義を行いました
<https://unwto-ap.org/topics/mice9641/>

JICA課題別研修において講義しました <https://unwto-ap.org/ap-topics/jica/>

名城大学で講演しました <https://unwto-ap.org/ap-topics/mei2/>

北海道大学観光学高等研究センター「連続公開フォーラム」において講演をおこないました。 <https://unwto-ap.org/topics/cat2021/>



○APTEC会員様限定ウェビナーアンケート

今年度、APTECでは新規事業として、APTEC賛助会員様を限定としたウェビナーを2回開催いたしました(10/8、1/26)。ご参加の皆様からいただいたアンケート結果を掲載いたします。

【第1回ウェビナー】

<概要>

- ・UNWTO本部職員によるプレゼンテーション
- ・海外の最新情報を発信
- ・会員同士のネットワーキング形成を促進

第1回APTEC会員様限定ウェビナーのご案内

コロナ収束に伴う経済活動の正常化はいつ？
日本版ワクチンパスポート導入により何が変わる？
ワクチンパスポート先進国フランスの実態は？

登壇：UNWTO本部（スペイン）のオリアヌヌ・デリアー氏によるフランスにおけるワクチンパスポート導入の最新情報！

- 2021年10月8日（金）
- 13:30～16:15
- オンライン（Zoom）
- 参加無料（事前予約制）
- 限定30名（先着順）
- 英日逐次通訳付き

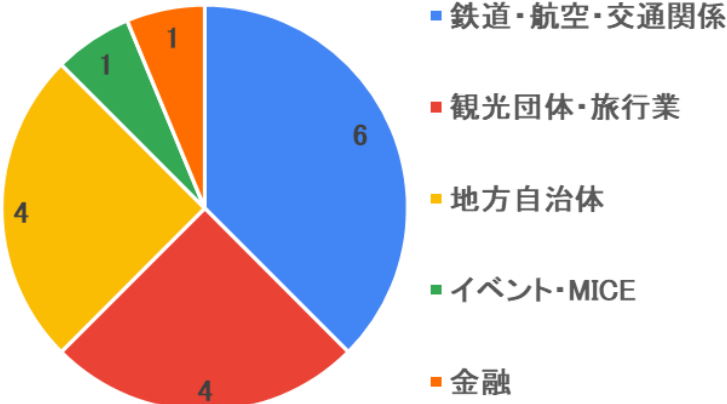
レクチャーの他、APTEC会員様同士の交流を目的に参加者の自己PRタイムや意見交換会も予定！

13:00 開会挨拶
13:30 開会案内・参加者確認・機器説明
13:40 代議士挨拶
13:45 登壇者紹介（お一人お一人）
14:20 レクチャー（逐次通訳付）
15:00 質疑
15:30 Q&A（逐次通訳付）
15:50 登壇者挨拶・意見交換
16:15 アンケート配布・終了

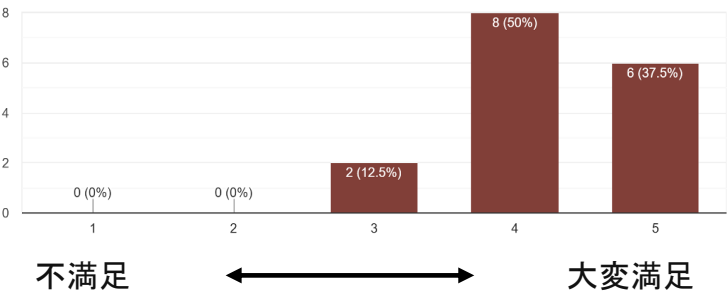
★申込締切日 2021年9月28日（火）★
＜お申し込み方法＞
下記URLよりお申し込み願います。
<https://unwto-ap.org/topics/aptec-seminar>
お問合せ：メール info@unwto-ap.org
電話 0742-30-3881（西暦/和暦）
主催：（一財）アジア太平洋観光交流センター



<参加者業種> ※アンケート回答：16名



<ウェビナー満足度>

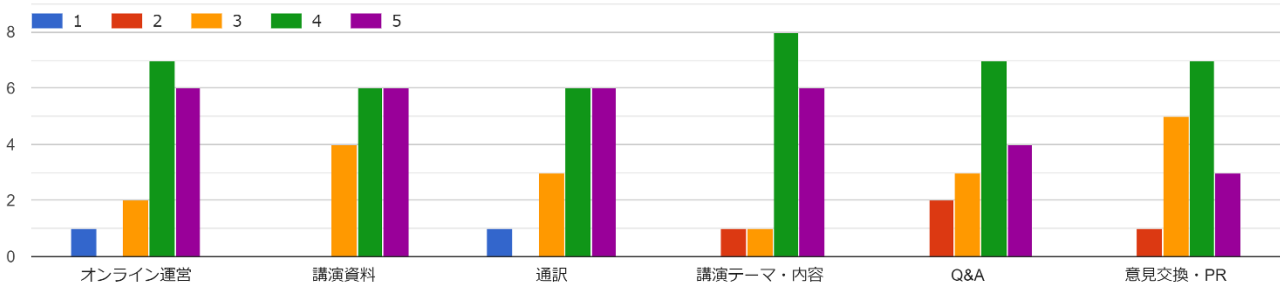


<参加者意見>

- ・フランスの事例紹介大変参考になりました。
- ・参加者紹介がオンラインのデメリットを打ち消す取組で素晴らしいと思いました。
- ・フランスにワクチンパスでの変化、またEUのワクチン接種現状と旅行意欲などが分かりました。勉強になりました。
- ・スムーズなイベント運営で、大変勉強になりました

<項目別満足度>

不満足 ← → 大変満足



【第2回ウェビナー】

＜概要＞

- ・(一社)田辺市熊野ツーリズムビューローからFIT(個人旅行)戦略と持続可能な観光への取組事例について講演
- 一括した旅行手配や着地型観光、観光における持続可能性と経済面の両立について紹介
- ・会員同士のネットワーキング形成を促進

第2回APTEC会員様限定ウェビナーのご案内

5年で外国人延べ宿泊者数が8倍に急増！
個人旅行（FIT）に特化した地域DMO、
田辺市熊野ツーリズムビューローの観光戦略とは？

FIT戦略と持続可能な観光への取組例

登壇：(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー
【地域DMO】のキーマン、ブラッド・トウル氏が
中間支援組織としての取組を紹介！

●2022年1月26日（水）
●13:30～15:20
●オンライン（Zoom）
●参加無料（事前予約制）
●限定30名（先着順）
●日本語によるレクチャー

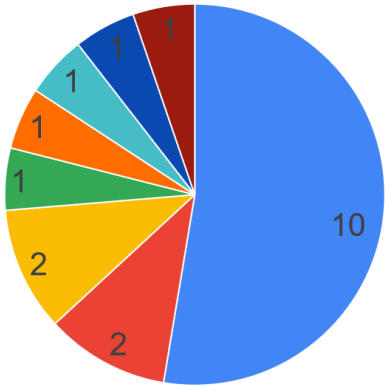
レクチャーの他、APTEC会員様同士の交流を目的に新規会員様の自己紹介や意見交換会も予定！

★申込締切日 2022年1月19日（水）★
※お申し込み方法
下記URLより申し込み願います。
<https://aptec.or.jp/ap-event>
お問合せ：メール info@unwto-ap.org
電話 0742-30-3881（西条/和泉）
主催：（一財）アジア太平洋観光交流センター

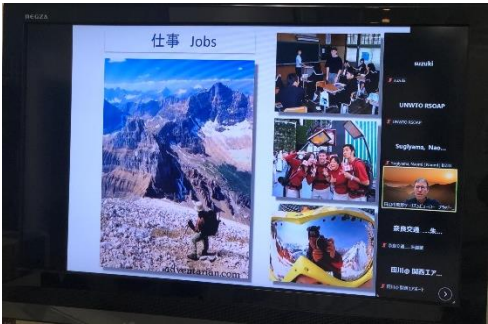
ブラッド・トウル (Brad Towle) 氏

国籍 カナダ
マニトバ大学、ケベック大学卒業後、
田辺市観光局でAPTECとして勤務。
夏季は世界遺産カナディアンロッキーにてプロのハイキングガイド等を
務め、2006年に田辺市観光局でア
ジア太平洋観光交流センター
DMO・観光事業部長に就任。

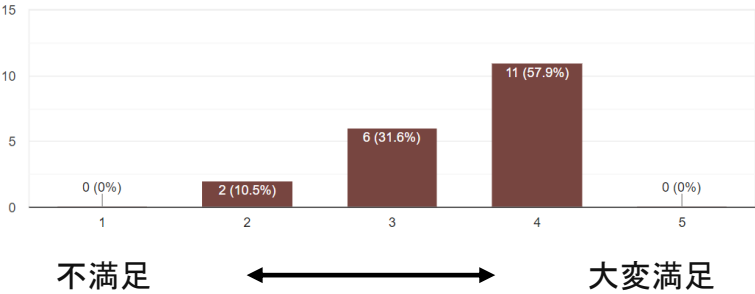
＜参加者業種＞※アンケート回答：19名



- 鉄道・航空・交通関係
- 地方自治体
- 製造
- IT企業
- ホテル・旅館
- 印刷業
- 観光団体・旅行業
- 金融



＜ウェビナー満足度＞

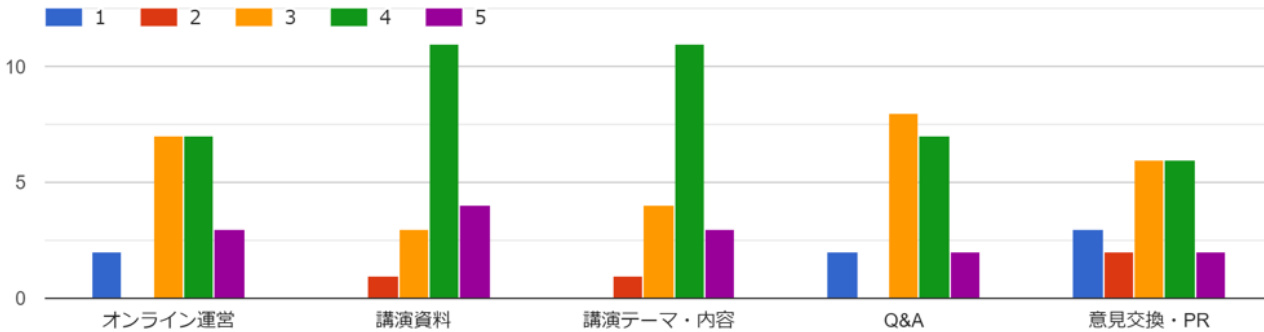


＜参加者意見＞

- ・各社の事例発表につきまして、事前に発表者を決めておくことでスムーズでより良い情報交換になると感じました。
- ・発言者の準備も一部必要かなと思いました。
- ・個人がストレスを感じずに旅行手配ができることの重要性を認識しました。
- ・プロ、有料の観光ガイド育成について、ボランティアでなく仕事であることの意識醸成が必要と感じました。

＜項目別満足度＞

不満 ← 大変満足



皆様からいただいたご意見を反映し、より良いウェビナー運営を目指して参ります。

<APTEC/UNWTO駐日事務所主催のイベント報告>

第1回APTECウェビナーを開催しました

日 程: 令和3年10月8日(金)

場 所: オンライン

参加人数: 20人 (APTEC賛助会員: 地方自治体、
観光関連事業者・団体等)



「観光を活用した持続可能な地域経営の普及・促進に関するシンポジウム」を開催しました

日 程: 令和3年12月8日(水)

場 所: ベルサール御成門タワー(東京)
※オンライン同時開催

参加人数: 会場82人、オンライン954人
(国、自治体、DMO、観光関連事業者、
大学、メディア関係者)



「ガストロノミーツーリズム国際シンポジウム2022」を開催しました

日 程: 令和4年1月13日(木)

場 所: 奈良県コンベンションセンター
コンベンションホールA
※オンライン併用

参加人数: 会場約300人、オンライン約280人
(国関係者、自治体、DMO、
観光関連事業者、大学、メディア等)



第2回APTECウェビナーを開催しました

日 程: 令和4年1月26日(水)

場 所: オンライン

参加人数: 26人 (APTEC賛助会員: 地方自治体、
観光関連事業者・団体等)

2022年1月26日(水)

第2回APTEC会員様限定ウェビナー



13:30 開始案内、参加者確認、概略説明
13:40 開会挨拶
13:43 新規会員様自己紹介
14:15 レクチャー
14:45 Q&A
15:00 参加者事例紹介・意見交換
15:15 アンケート案内、締め



観光危機管理に関するシンポジウムを観光庁と共催しました

日 程: 令和4年2月17日(木)

場 所: オンライン

参加人数: 597名

(自治体、DMO職員、大学、研究機関、
観光事業従事者等)



※詳細記事はUNWTO駐日事務所のwebサイトをご覧ください。

【URL: <https://unwto-ap.org/>】

<APTEC/UNWTO駐日事務所の活動>

<令和3年6月30日>「第40回日中学生会議」において講演を行いました



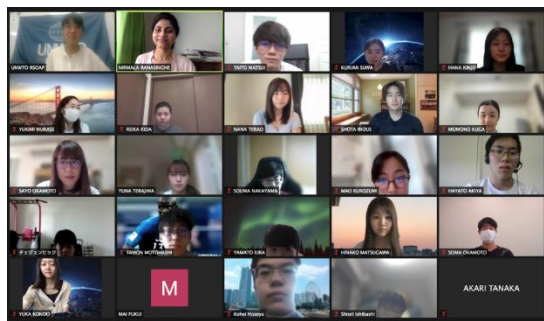
<令和3年7月7日> 青山学院大学地球社会共生学部にてインタビュー動画を
発信しました



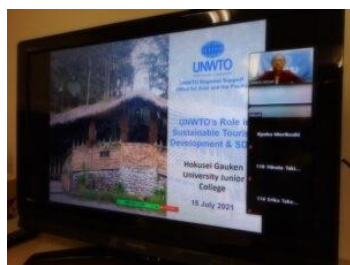
<令和3年7月8日> 京都外国語大学において講演を行いました



＜令和3年7月12日＞立教大学観光学部1年次において講義を行いました



＜令和3年7月15日＞北星学園大学短期大学部英文学科「ホスピタリティと観光」において講義を行いました



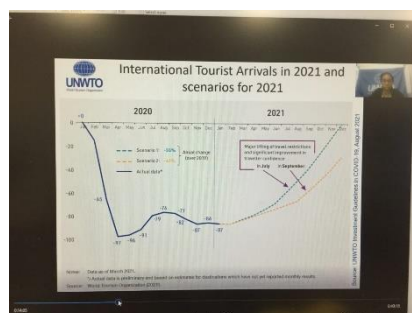
＜令和3年8月24日＞近畿大学付属高等学校 英語特化コースにおいて講義を行いました



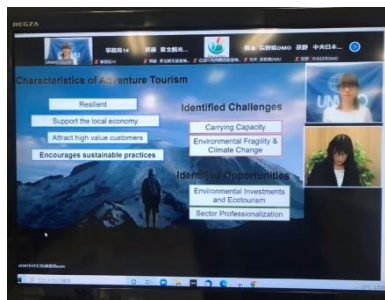
＜令和3年8月25日＞奈良県立畝傍高等学校「課題研究α」において講演を行いました



＜令和3年9月7日＞JICA課題別研修において講義しました



＜令和3年9月8日＞アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット(ATWS)北海道/日本」キックオフ・シンポジウム」で基調講演を行いました



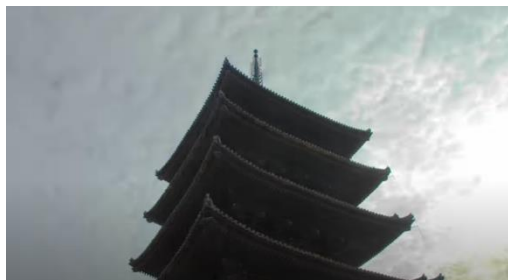
＜令和3年9月14日＞第33回東アジア太平洋地域及び南アジア地域合同委員会に参加しました



＜令和3年9月15日＞名城大学で講演しました



＜令和3年9月15日＞自治体、観光協会へ向けた助言を行いました



＜令和3年9月21日＞第1回パプアニューギニア大学(UPNG)プロフェッショナル・スタディーズ観光セミナーにおいて講演を行いました



＜令和3年10月4日～12月3日＞観光を活用した持続可能な地域経営の普及・促進のためのセミナーを実施しました



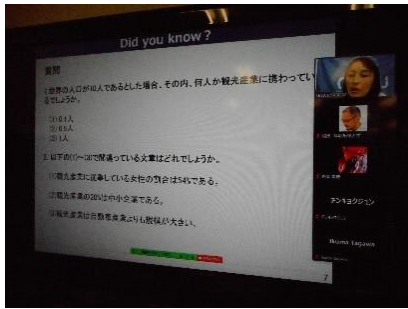
＜令和3年10月5～8日＞第15回UNWTOアジア太平洋エクゼクティブトレーニングに参加しました



＜令和3年10月20日＞筑波大学で講演しました



＜令和3年10月20日＞拓殖大学交通論B「ゲストセミナー」において講義を行いました



＜令和3年10月27日＞「第13回アジア太平洋都市サミット」において分科会「新時代の持続可能なツーリズム」のモデレーターとして出席しました



＜令和3年10月29日＞第2回太平洋博覧会「観光フォーラム」に参加しました



＜令和3年10月31日～11月2日＞第6回UNWTOガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム（ベルギー ブルーージュ）に出席しました



＜令和3年11月10日＞奈良県立奈良朱雀高等学校で講義を行いました



＜令和3年11月11日＞日本交通公社「UNWTO講演会」において講演しました



＜令和3年11月18～20日＞沖縄・石垣島及びオンラインで開催された「アイランダーサミット石垣2021」にパネラーとして参加しました



Islander Summit 2021

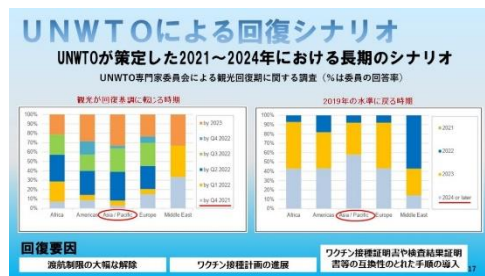
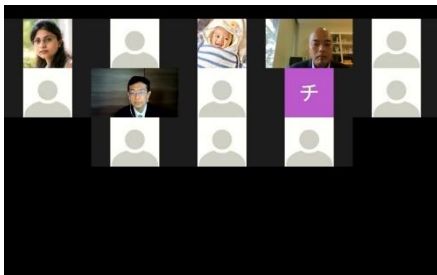
人間性への回帰
ヒューマン・グレート・リセット

「人間性への回帰・ヒューマン・グレート・リセット」をテーマに「未来のモノサシ」、「これからのライフバリュー・暮らし、仕事、遊び」、「自然と共存するデジタルを軸とする」、「自然と共存するデジタルを軸とする」、「デジタル時代のローカル経済」をテーマとして掲げ、オンラインで開催します。

名称：アイランダーサミット石垣2021
 日程：2021年 11月18日（木）・20日（土）
 主催：アイランダーサミット実行委員会
 後援： 観光庁
 協力： 沖縄県観光振興局、
 沖縄県観光振興局、
 フォーラム・石垣、
 ネットワーク、MUP

2021年11月18日（木）15:00 - 18:00
 2021年11月20日（土）10:00 - 16:00
 YouTube Live

<令和3年11月20日> 奈良県立大学・地域創造研究センターキックオフシンポジウムで講演を行いました



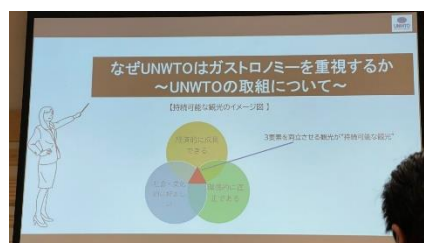
<令和3年11月25日> 九州産業大学「グローバル・リーダーシップ・プログラム (GLP)」において講義を行いました



<令和3年12月1日> 奈良県立畝傍高等学校「課題研究」実践に向けたLHR(ロングホームルーム)において講演を行いました



<令和3年12月4日> 内閣府、奈良県主催「クールジャパン推進会議 in 奈良」に出席しました



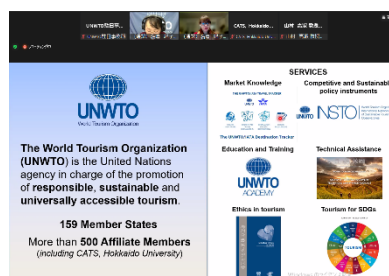
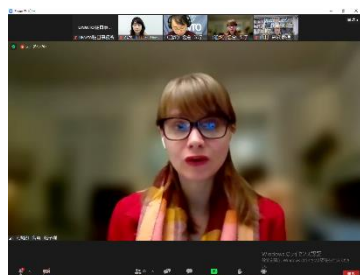
<令和3年12月10日> 楽天ウェビナーにおいて講演しました



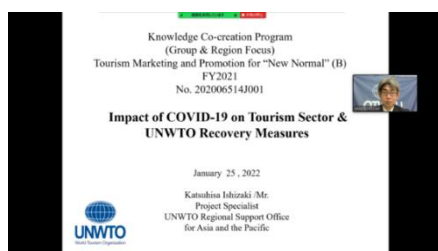
<令和3年12月16日>太平洋諸島センター主催ウェビナーで基調講演を行いました



<令和3年12月17日>北海道大学観光学高等研究センター「連続公開フォーラム」において講演をおこないました



<令和4年1月25日>JICA課題別研修「観光マーケティング・プロモーション」(B)において講義を行いました



UNWTO COVID-19 Tourism Recovery Technical Assistance Package (1)

The package is structured around three main pillars:



<令和4年1月27日>新潟大学教養科目「健康・スポーツ科学」において講義を行いました



What is Gastronomy Tourism?

UNWTOによるガストロノミーツーリズムの定義

- 観光客の体験・活動が、食や食材に関連付いていることを特徴とする。
- 本格的、伝統的又は革新的な料理体験と併せて、地域の産地訪問、食に関するフェスティバルへの参加、料理教室への参加など含む場合もある。



<令和4年2月9～10日>四国運輸局及びJICA四国の共催による「JSTS-Dに準拠した観光ワークショップセミナー」において講演を行いました



<今後の予定>

<第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラム>を開催します
(UNWTO、奈良県主催)

日 程: 令和4年12月12日(月)～15日(木)

場 所: 奈良県コンベンションセンターなど

※詳細については後日APTEC通信等でご連絡させていただきます。